

科 目 名		学 年	
電気製図Ⅱ : Technical Drawings for Electrical Engineering Ⅱ		5E	
教 員 名		日高 良和 : HITAKA Yoshikazu	
単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態
1	100分×15回	選 択	製図・後期
授 業 概 要		学 修 単 位	
電気技術者として電気図面の内容を理解できるように、電気図面の種類や電気用図記号、電線の種類を説明し、屋内配線や自家用電気工作物の配線図と接続図について学ぶ。		○	
到 達 目 標		評 価 方 法	
(1)電気図面の役割と種類を理解できる。 (2)電気機器の図記号を正しく描くことができる。 (3)単線接続図を正しく描くことができる。 (4)複線接続図を正しく描くことができる。		①中間試験(40%)、 ②全提出図面の平均点(50%) ただし、提出期限までに提出されなかった図面の評点は0点とする。 ③自学自習によるレポート(10%) によって評価する。	
学 習 ・ 教 育 目 標		(C)	JABEE基準1(2)
			(C)-①
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	授業の進め方と電気製図概要	授業のスケジュールと評価方法について説明する。電気図面と業務との関わりから図面の役割について説明する。
	第2	自学自習確認と電線・ケーブル	自学自習の確認を行い、電気設備に使用する電線やケーブルの種類、記号について説明する。
	第3	自学自習確認と屋内配線図面・配線用図記号	自学自習の確認を行い、屋内配線に関係する規定と配線図の種類、構内電気設備配線図記号について説明する。
	第4	自学自習確認と点滅器回路	自学自習の確認を行い、屋内配線で使用される点滅器の配線図について説明する。
	第5	自学自習確認と屋内配線の設計	自学自習の確認を行い、屋内配線の負荷容量と分岐回路数、幹線の太さの設計について説明する。
	第6	自学自習確認と木造住宅の屋内配線図	自学自習の確認を行い、木造住宅の電灯と家庭用電気機器の屋内配線図と分電盤接続図について説明する。
	第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。
	第8	試験の説明と自家用電気工作物の図面	中間まとめ試験の説明と自家用電気工作物に用いられる接続図について説明する。
	第9	電力機器と図記号	電力機器とその単線用・複線用図記号について説明する。
	第10	自学自習確認とキュービクル式高圧受電設備	自学自習の確認を行い、自家用電気工作物のひとつであるキュービクル式高圧受電設備について説明をする。
	第11	自学自習確認と電気設備の単線結線図の製図	自学自習の確認を行い、キュービクル式高圧受電設備の単線接続図を作成する。
	第12	電気設備の単線結線図の製図	キュービクル式高圧受電設備の単線接続図を完成させる。
	第13	電気設備の複線結線図の製図	キュービクル式高圧受電設備の複線接続図を作成する。
	第14	電気設備の複線結線図の製図	キュービクル式高圧受電設備の複線接続図を完成する。
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめと授業評価アンケート調査を行う。	
自学自習の内容		レポートを課す。	
関連科目		電気製図Ⅰ	
教科書		電気製図(緒方興助 他著・実教出版)	
参考書		JIS/ハンドブック	
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考			